

<出演者プロフィール>

野宮真貴



ピチカート・ファイヴ3代目ヴォーカリストとして、90年代に一世を風靡した「渋谷系」ムーブメントを国内外で巻き起こし、音楽・ファッションアイコンとなる。2019年はデビュー38周年を迎え、音楽、ファッションやヘルス&ビューティーのプロデュース、エッセイなど多方面で活躍している。2012年から渋谷系とそのルーツの名曲を歌い継ぐ音楽プロジェクト「野宮真貴、渋谷系を歌う。」を行っており、その集大成となるベストアルバム「野宮真貴 渋谷系ソングブック」をリリース。ベストセラーとなった「赤い口紅があればいい」（幻冬舎刊）も文庫本となり発売中。

3/20には、ピチカート・ファイヴ時代にリリースしたソロアルバム「miss maki nomiya sings」がリイシューされ発売。

2019年11/3に日本コロムビア時代のピチカート・ファイヴの名曲をリイシューしたファン待望のベスト・セレクション・アルバム、「THE BAND OF 20TH CENTURY: Nippon Columbia Years 1991-2001」が「アナログ盤7inch BOX」と「CDアルバム」の永久保存盤として発売予定。

沖野修也(KYOTO JAZZ MASSIVE)



DJ/作曲家/執筆家/選曲評論家/Tokyo Crossover/Jazz Festival 発起人/The Room プロデューサー。

KYOTO JAZZ MASSIVE 名義でリリースした「Eclipse」は、英国国営放送 BBC ラジオ ZUBB チャートで3週連続 No.1 の座を日本人として初めて射止めた。

これまで DJ/アーティストとして世界 35ヶ国 140 都市に招聘されただけでなく、CNN や Billboard 等でも取り上げられた本当の意味で世界標準をクリアできる数少ない日本人音楽家の一人。

ここ数年は、音楽で空間の価値を変える「サウンド・ブランディング」の第一人者として、映画館、ホテル、銀行、空港、レストラン等の音楽設計を手掛けている。著書に、『DJ 選曲術』や『クラブ・ジャズ入門』、自伝『職業、DJ、25年』等がある。

2011年7月、2枚目のソロ・アルバム『DESTINY』が、iTunes ダンス・アルバム・チャート第1位、総合アルバム・チャートでも第3位を獲得。

2013年11月にはバーニーズ ニューヨーク新宿店で初のイラストレーション展を開催。

2015年4月、新たにプロデュースしたプロジェクト、Kyoto Jazz Sextet のデビューアルバム『Mission』をブルーノート・レーベルよりリリース。

現在、InterFM897『JAZZ ain't Jazz』にて番組ナビゲーターを担当中(毎週日曜 16時～)。

有線放送内 I-12 チャンネルにて「沖野修也 presents Music in The Room」を監修。

スウェーデンのレーベル Local Talk より 2018年10月に「RISING (RON TRENT Remix)/KYOTO JAZZ SEXTET」、11月に「MISSION (JAXX MADICINE REMIX)/KYOTO JAZZ SEXTET」をリリース。11月3日には、HMV record より『You've Got To Have Freedom/Mission (Unreleased Version)/KYOTO JAZZ SEXTET』をリリース。

田中知之 (FPM)



DJ/プロデューサーとして国内外で活躍。'97年『The Fantastic Plastic Machine』でデビュー以降、8枚のオリジナルアルバムをリリース。

リミキサーとしても、FATBOY SLIM、RIP SLYME、布袋寅泰、くるり、UNICORN、サカナクション、Howie B など100曲以上の作品を手掛ける。

『オースティン・パワーズ：デラックス』や『SEX AND THE CITY』への楽曲提供の他、村上隆がルイ・ヴィトンの為に手掛けた短編アニメーションの楽曲制作や、世界三大広告賞でそれぞれグランプリを受賞したユニクロのウェブコンテンツ『UNIQLOCK』の楽曲制作を担当するなど、活躍の場は多岐に渡る。

DJとしては、日本国内はすでに全都道府県を制覇、海外でも約60都市でのプレイ実績を誇り、近年でも出演イベント数は年間100本を軽く超える。

国内の有名フェスは元より、米国のコーチェラ・フェスティバルやイギリスのレディング・フェスティバルなど海外の有名フェスへの出演経験も多数。

ジャンルという固定概念に縛られる事の無い豊富な音楽知識に裏打ちされたプレイスタイルは、国内外のハイブランドのパーティーDJとしても絶大な信頼を得ている。

梅澤 高明



経営コンサルタント/大学教授/DJ。A.T. カーニー日本法人会長、一橋大学大学院(ICS) 特任教授。テレビ東京 WBS コメンテーター。

NEXTOKYO Project で東京の街づくりに取り組み、風営法改正とナイトタイムエコノミー推進に参画。80年代ゴシックロック/ポジティブパンクを代表するバンドの一つ、“G-Schmitt”でベース・作編曲を担当。通算9枚のLP・EP・CD制作に参加。